

経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県越谷市 越谷市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド透訓方	救臨輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
344,528	32,126	非該当	7：1	

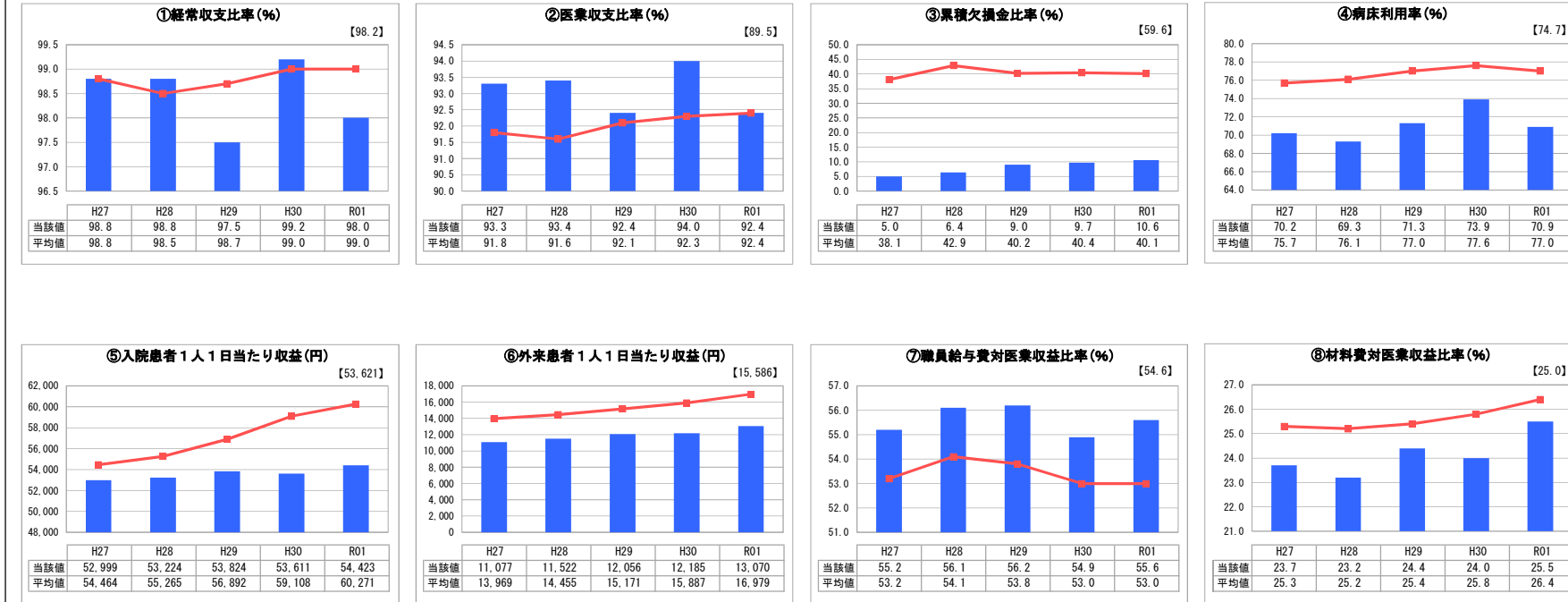
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

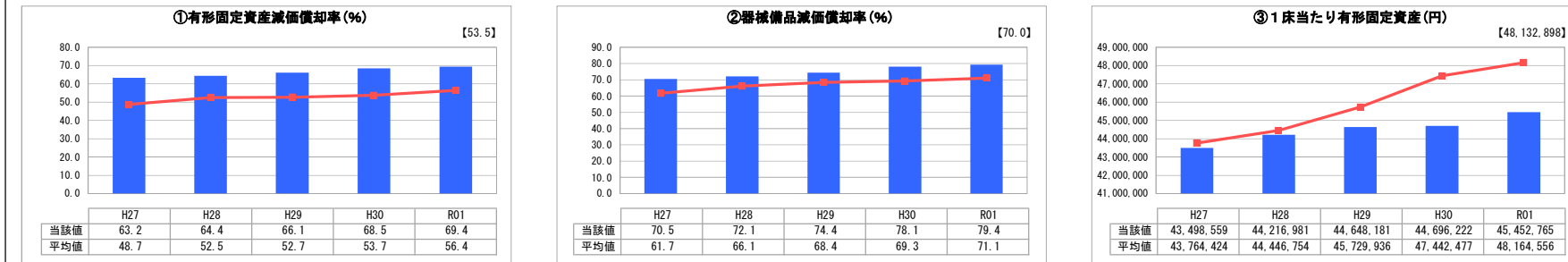
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
481	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	481
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
432	-	432

グラフ凡例		
■	当該病院値（当該値）	
—	類似病院平均値（平均値）	
【	令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療の役割を担っており、医療連携・機能化を図る中で、救急患者や紹介患者をスムーズに受け入れ、後方の連携施設に逆紹介を行うことで、地域のハブとなる病院を目指す。特に東部医療圏において「救急医療」「がん医療」「小児・産産期医療」を担う役割が大きい。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
類似病院平均値より下回っている。これは、年度末に蔓延した新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと、高価な医薬品の使用量増加により費用が増加したことが要因であり、当面は医療提供体制を維持しつつ前年並みの収益確保を図りたい。

② 病床利用率
類似病院平均値より低い水準となっている。当院は病急体制および地域の医療連携・機能化を強化することで利用率の向上を図りたい。

③ 入院患者1人1日当たりの収益
当院の前年度と比較すると増加しているものの、類似病院平均値と比較では大きく差を縮めている状況であり、引き続き原因を検証する必要がある。

④ 外来患者1人1日当たりの収益について
順調に伸びているものの、類似病院平均値より低い水準となっている。診療報酬請求もれ防止、査定額の抑制、新たな施設基準の取得等と取組み、収益向上を図りたい。

⑤ 職員給与と費対医業収益比率
類似病院平均値より高くなっている。食費の提供や外来窓口業務等については委託せずに直営としていくことが要因と考えられる。

2. 老朽化の状況について

①②有形固定資産及び器械備品減価償却率
当院は昭和51年の開院以来、平成5～9年度にかけて、大規模な増築工事や改修工事を行い施設の維持を図ってきた。
また、医療器械についても計画的な保守点検や買い替え等を行ってきたところである。
しかしながら、経年劣化による老朽化は否めないため、将来的な施設の建替え等の検討が必要であると考える。

全体総括

新型コロナウイルス感染症の影響による減収は今後も予想されることから、まずは、短期目標として医療提供体制を維持しつつ例年並みの収益確保を目指す。また、長期目標としては、安定した経営基盤を築くため、類似病院との比較による経営分析を行い、第5期中期経営計画に基づき「収益確保対策」「費用削減対策」「医療の質の向上・患者サービスの向上」「管理運営体制の強化」の4項目を柱とする各種施策に取り組んでまいります。